

## 6R-P15

### 電力増幅用5極管

Hi-Fi 用 6R-P15 は、一般家庭並びに小ホール用に設計されたミニアチュア 9 ピンの電力増幅用 5 極管であります。低雑音の Hi-Fi 用 6A U6, 12AX7 と併用していただくと、高忠実度高出力 Hi-Fi 増幅器を製作することができます。

#### Hi-Fi 用 6R-P15 の特長

(1) 出力が大きい。

小型の MT 管としては最大の出力を持っております。6AQ5, 6V6-GT, 6F6-GT よりも 30% 以上大きい出力が得られ、シングルで 7W 程度、AB<sub>1</sub> 級プッシュプルで 20W 近くの出力を得ることができます。

## (2) 入力信号電圧が少く、高能率

相互コンダクタンスが他の出力管に比べて3倍以上も大きく、従って入力信号が少くても高出力が得られる高能率球であります。

## (3) 歪が少ない

大出力にも拘らず、従来の出力管に較べてかえって歪が少ない。又、入力信号が少なくすむため、前段における歪が軽減されることと相俟って、低歪の高級増幅器の出力管として適しています。

## (4) プッシュプル用としてのベアーチューブ

高出力を必要とする場合や、歪を軽減する場合には、プッシュプル増幅回路の採用をおすすめします。この際特に歪を少なくするため、特性の揃ったベアーチューブを御使用下さい。

## カソード 傍熱型

ヒータ電圧	6.3V
ヒータ電流	0.75A

## 外形 21-4

## 最大定格

プレート電圧	最大	300V
スクリーン電圧	最大	300V
負グリッド電圧	最大	100V
プレート損失	最大	13.5W
スクリーン損失	最大	2.5W
ヒータ・カソード間電圧	最大	100V
尖頭スクリーン損失	最大	4.5W

## 最大回路値

## グリッド回路抵抗

固定バイアス	最大	0.3M $\Omega$
自己バイアス	最大	1M $\Omega$

## 動作特性

シングル A<sub>1</sub> 級増幅

プレート電圧	250V					
スクリーン電圧	250V					
グリッドバイアス電圧	-8V					
(カソード抵抗)	130 $\Omega$ )					
相互コンダクタンス	11,000 $\mu\text{V}$					
内部抵抗	32k $\Omega$					
増幅率 (3極管接続)	約 17					
負荷抵抗	4k $\Omega$					
入力信号電圧	0	0.4	3.3	4.1	4.8	5.6V <sub>rms</sub>
プレート電流	54	—	—	57.5	—	59 mA

## 6R-P15

## 東芝真空管ハンドブック

スクリーン電流	6.8	—	—	10	—	16	mA
出力	0	0.05	3.2	4.5	5.7	6.8	W
全高調波歪率	—	—	6.2	7.2	8.4	10	%

AB<sub>1</sub>級プッシュプル増幅用

プレート電圧	250		300		V
スクリーン電圧	250		300		V
カソード抵抗	120		120		Ω
負荷抵抗 (両プレート間)	6		6		kΩ
入力信号電圧	0	8.3	0	10.6	V <sub>rms</sub>
プレート電流	2×36.5	2×42.5	2×44.5	2×53	mA
スクリーン電流	2×4.6	2×8.5	2×5.5	2×11.8	mA
出力	0	12	0	18	W
全高調波歪率	—	2.5	—	2.5	%

3極管接続 A<sub>1</sub>級増幅用 (スクリーンをプレートに接続)

プレート電圧	250V				
カソード抵抗	270Ω				
負荷抵抗	2.5kΩ				
入力信号電圧	0	1.07	5.3	7.5	V <sub>rms</sub>
プレート電流	38	—	—	40	mA
出力	0	0.05	1.0	1.8	W
全高調波歪率	—	—	6.2	9	%

3極管接続 AB<sub>1</sub>級プッシュプル増幅用

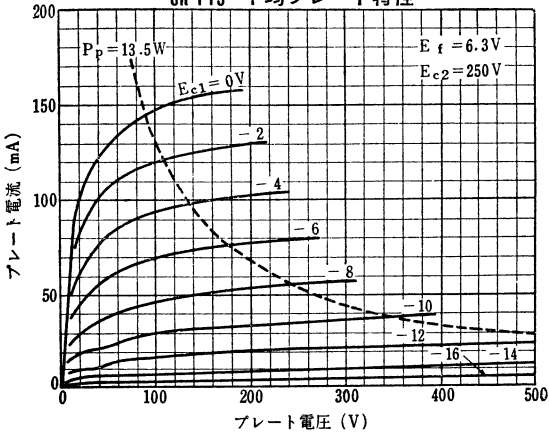
プレート電圧	250		300		V
カソード抵抗	200		200		Ω
負荷抵抗 (両プレート間)	7		7		kΩ
入力信号電圧	0	8.4	0	10.2	V <sub>rms</sub>
プレート電流	2×28.2	2×30.2	2×3.4	2×36.5	mA
出力	0	3.5	0	5.5	W
全高調波歪率	—	2	—	2	%

## 使用上の注意

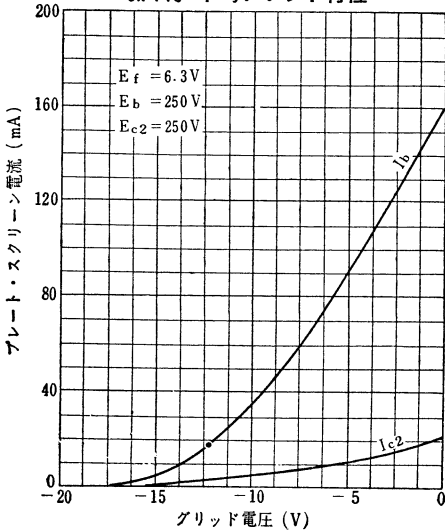
- (1) Hi-Fi用 6RP-15 は高出力なため、ガラスバルブは非常に熱くなります。従って、通風及び部品配置には十分御注意下さい。
- (2) 使用に際しては、第1グリッドの放熱のためピン#1とピン#2をつないで配線して下さい。
- (3) Hi-Fi用 6R-P15は低歪の出力管であります。優れた Hi-Fi 増幅器を設計される場合には、更に歪を軽減するため負帰還回路をおすすめいたします。又、プッシュプル増幅回路にはペアーチューブの御使用が適しています。

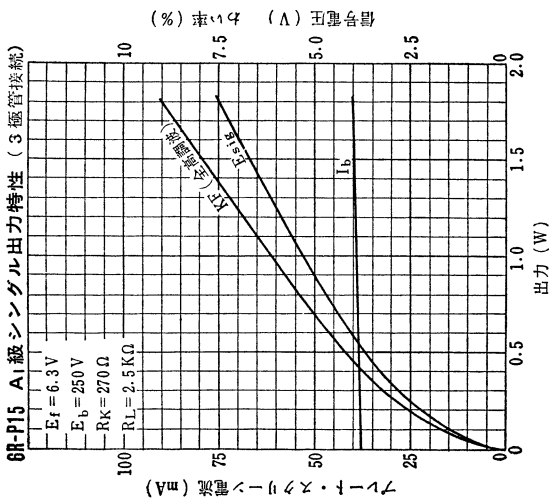
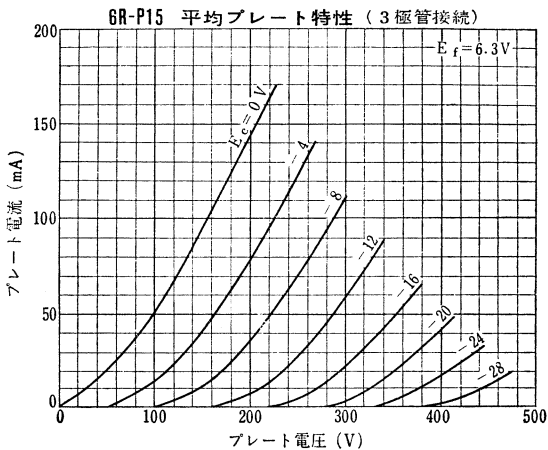
## 東芝真空管ハンドブック

## 6R-P15 平均プレート特性

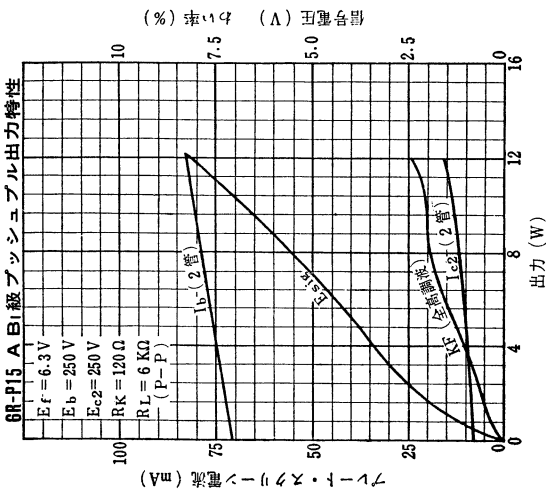
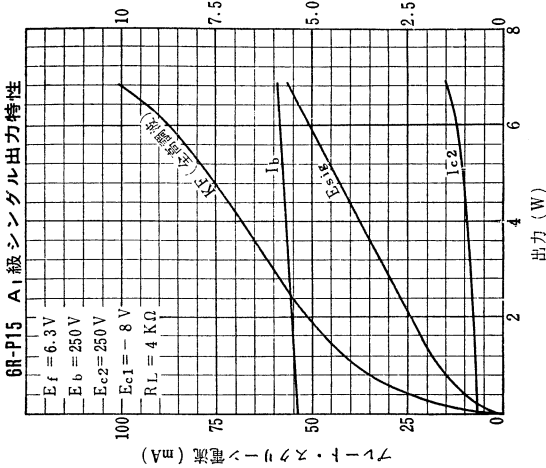


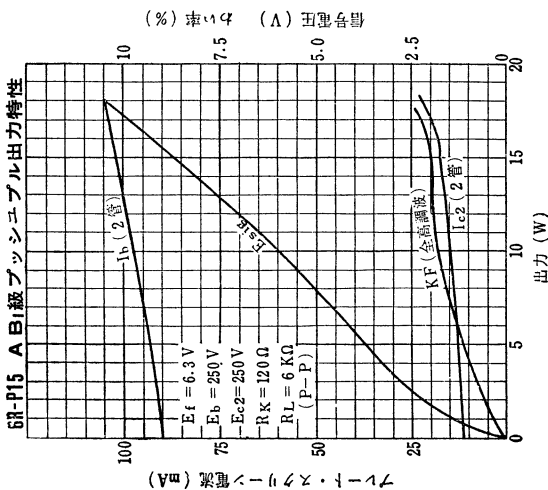
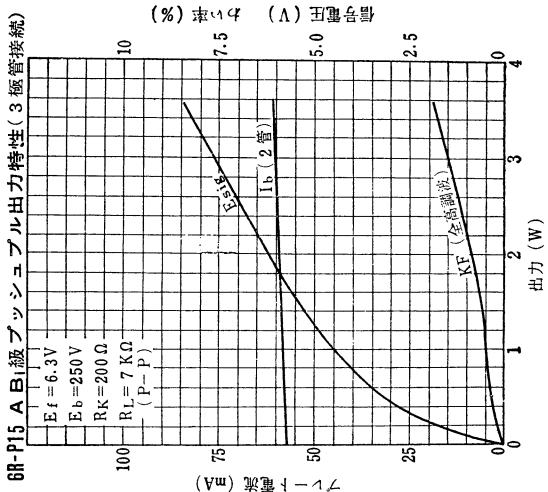
## 6R-P15 平均グリッド特性





(%) 率い電 (A) 圧電高昇





## 東芝真空管ハンドブック

6R-P15 A B<sub>1</sub>級プッシュプル出力特性(3極管接続)